事業完了報告書

提出日：2023 年 4 月 20 日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人東京里山開拓団
（2）事業名　：児童養護施設との里山開拓活動とそれを支える企業向け里山研修事業
（3）事業実施期間：2020 年 4 月から 2023 年 3 月まで
（4）資金分配団体名：特定非営利活動法人まちぽっと

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑ 完了　／　☐ 整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2） 整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☐ 全て公開した　／　☐ 一部未公開　／　☑ 未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 WEB サイトリニューアルを進めているが検討や準備が間に合っていないため。2023 年度中に公開予定。
（3） 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐ 変更があり報告済　／　☐ 変更があったが未報告　／　☑ 変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい　／　☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☐ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 情報公開を進めるために WEB リニューアルを進めてきたものの遅延しているため。2023 年度中に完成予定
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 当団体監査・伊藤圭一、2023 年 5 月予定
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☐ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	都政新報（6 月）「環境保全と児童福祉の一石二鳥」 BS 朝日（8 月）「つながる絵本～for SDGs～」 建築保全センター機関紙 Re（4 月号）「児童養護施設の子どもたちと伐り拓く里山づくり」など
広報制作物等	有	環境省による当団体紹介ビデオ制作 https://www.youtube.com/watch?v=FqOju56F11o
報告書等	有	中央環境審議会資料 https://www.env.go.jp/council/content/i_01/000088698.pdf

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

改善を求めたい事項：休眠預金活用制度の根幹にあたるところになりますが、組織力強化、説明責任の名のもとで、当方としては本来ボランティア活動そのものに充てるべき人材や時間を膨大な報告対応に費やさざるを得ませんでした（実際、担当者 2 名が報告対応に意味を見出せず辞任）。当方には休眠預金に群がる企業や関係者などが運営業務受託のために形式的で意味のない管理業務をわざわざ作っているようにしかみえませんでした。もし本気でボランティアを支援するつもりがあるなら、他の民間助成団体の効率的で効果的な管理や支援のあり方から学ぶこともできたと思います。さらにいうなら、私たちと同様に無償ボランティアで業務運営をしていたなら、きっとボランティア支援とは本来どうあるべきかが自ずから分かったはずです。本内容は 3 年間重ねて訴えてきたことですが結局暖簾に腕押しで無反応だったことも重ねて残念です。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

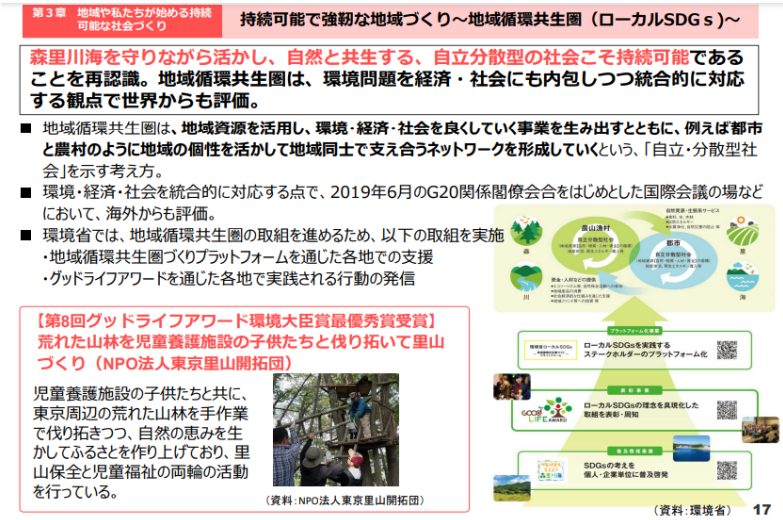
※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

八王子の山林を児童養護施設の子供たちと伐り拓き、里山の恵みを生かしながらツリーハウス、ロープ橋を建設中

児童養護施設の高校生とともに荒れた山林のなかに手作業で新たな道を開拓

かつては里山のシンボルだったのにいまやトキやヤンバルクイナより希少な絶滅危惧種ミゾゴイの生息を確認

里山ふもとの空き家を素人 DIY でリフォームし、児童養護施設の里山付き別荘・さとごろりん菅生が完成、コロナ禍でも施設だけで里山ライフが満喫できる、施設不適応児童への対応ができると大好評



第３章　地域や私たちが始める持続可能な社会づくり

持続可能で強靭な地域づくり～地域循環共生圏（ローカルSDGｓ）～

森里川海を守りながら活かし、自然と共生する、自立分散型の社会こそ持続可能であることを再認識。地域循環共生圏は、環境問題を経済・社会にも内包しつつ統合的に対応する観点で世界からも評価。

- 地域循環共生圏は、**地域資源を活用し、環境・経済・社会を良くしていく事業を生み出すとともに、例えば都市と農村のように地域の個性を活かして地域同士で支え合うネットワークを形成していく**という、「自立・分散型社会」を示す考え方。
- 環境・経済・社会を統合的に対応する点で、2019年6月のG20関係閣僚会合をはじめとした国際会議の場などにおいて、海外からも評価。
- 環境省では、地域循環共生圏の取組を進めるため、以下の取組を実施
  - ・地域循環共生圏づくりプラットフォームを通じた各地での支援
  - ・グッドライフアワードを通じた各地で実践される行動の発信

【第8回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞】
荒れた山林を児童養護施設の子供たちと伐り拓いて里山づくり（NPO法人東京里山開拓団）

児童養護施設の子供たちと共に、東京周辺の荒れた山林を手作業で伐り拓きつつ、自然の恵みを生かしてふるさとを作り上げており、里山保全と児童福祉の両輪の活動を行っている。

（資料：NPO法人東京里山開拓団）

（資料：環境省）　17

令和３年度環境白書に、環境省の推進する「地域循環共生圏」の試みとして紹介